

第79回 朝陽同窓会代表幹事会（2025.10.11）議題 議事録・記録（配布資料）

日程 2025年10月11日（土）14：00～16：00

会場 母校大会議室 出席35名（代表幹事約130名）

議題 議長 三上彩子会長

1 ホームカミングデー （11月1日13：00～16：30）懇親会（17：30～）20名

会場：3階視聴覚教室・1階生徒ホール

「音楽会」第1部 13:20 雅楽「笙」笙演奏家 豊 明日美さん

13:50 ゲーム音楽集団「Ⅱ魂」結城牧子さん

第2部 14:50 朝陽合唱団

15:10 管弦楽部OB OG

16:00 グラウンドツアー

◎代表幹事は同期の方にご案内ください。また、同期会や部活OB OG会等でもお知らせください。多くの方のご来場をお待ちしています。詳細はHPをご参照ください。

2 WEBレター 本年度も中止

3 組織検討委員会（同窓会の一般社団法人化について）高橋寛副会長（財団理事）

(1)「一般社団法人」化による主なメリット

① 社会的信用の向上②資産管理の適正化③財政基盤の強化④運営の透明性確保

(2)他校同窓会の事例：紫芳会（立川高）城北会（戸山高）九曜会（北園高）鷗友会（白鷗中等）ワカバ会（三田高）国立高校同窓会などが「一般社団法人」化されている。

(3)まず任意団体の「朝陽同窓会」を「一般社団法人」化する。名称、構成員、役員（社員・理事）等は今後詰める。「一般財団法人朝陽会」との一体化は次の段階で検討。

＊館山寮運営委員会（仮称）設置について 鈴木仁志代表幹事（38回 財団理事）

(1)目的 以下の施策を遂行するために迅速な意思決定と実行を期すため。

(2)施策 ①臨海教室継続のための館山寮の維持発展 ②館山寮維持の財政基盤確立 ③オールシーズン対応 ④部活動利用の促進 ⑤地域との連携 ⑥PTAとの連携強化 ⑦ボランティア活動への対価支払い ⑧他校との連携（房総連合大遠泳） ⑨利用者のマーケットリサーチ ⑩HPの効果的利用

(3)組織 財団法人朝陽会の新体制に伴い「将来構想検討委員会」は解散。「組織検討委員会」と足並みをそろえ、同窓会及び財団法人に「館山寮運営委員会」を設置する。

(4)委員 水泳部中心から多角的な視点から検討できるよう構成する。同窓会は卒業生、財団は卒業生、PTA、教職員。水泳部OBOGに偏らない人選を心がける。

4 広報委員会（新HP及びSNSについて）楠副会長

→委員長（須田副会長） HP・SNS担当（楠副会長）

新HPで、「創立100周年記念事業報告書」及び「記念募金寄付者芳名録」を公開する。なお、「芳名録」については、個人情報保護の観点からパスワードを検討する。「報告書」については、HPに公開後、冊子を一部関係者に配布する。印刷部数は200～300部とし、記念募金10万円以上寄付者（百周年記念誌贈呈者約120名）へ郵送、残部は関係者に配布する。

(1) ウェブサイト（HP）リニューアルについて

＊宝塚デザインに制作を依頼し完成、最終確認し納品。88万円

＊新しいURLは、shinjuku-alumni.org。リニューアルに伴い、サーバー移転等を行った。

(2)今後の広報強化委員会：広報強化委員会は解散、ウェブサイト、会誌「朝陽」、SNS運用の企画は「広報委員会」（委員長は須田副会長）が行う。

(3) ウェブ関連更新部（仮称）の開設

①目的 人手を増やすことで、ウェブページとSNSの更新頻度を上げる。組織構築により、原稿チェック、引継ぎがスムーズになる。若手同窓会員を活用。運営に対価を発生させる。

① 構成員：代表は楠副会長、岩瀬(72)、我田(73)、土屋(77) 半年を目途に見直す。

② 謝礼：予算50万円からメンバーに月3000円及び会議費を支払う。

③ HP更新：HP記事発生（同期会開催案内・訃報・部活動OBOG会開催案内・寄贈書籍・母校進路部だよりなど）→事務局へ依頼→ウェブ関連更新部（割振・記事作成・チェック）→HPの更新・公開

5 報告

① 朝陽奨学金：「朝陽奨学金」に一本化する。西尾副会長

A 名称の一本化

＊変更前（各10万円支給）

『朝陽奨学金』『学年奨学金』各学年3名程度「就学援助金」全学年3名程度

『あい奨学金』卒業時3年生3名

＊変更後（各 10 万円）

『朝陽奨学金』名称を一本化。1・2 学年各 3～4 名、3 学年 6～7 名。突発的な事情で経済的支援が必要になった生徒へは別途対応する。

＊変更理由：名称類似による混乱の回避

B 給付時期の変更

＊変更前

『朝陽奨学金』『学年奨学金』7 月ごろ「就学援助金」必要な時期

『あい奨学金』卒業時（3 月）

＊変更後

『朝陽奨学金』7 月ごろ

＊変更理由

旧『あい奨学金』の給付時期が早まったが、大学受験料等に備えるため。

C 給付目的の変更

＊変更前

『朝陽奨学金』『学年奨学金』『就学援助金』経済的支援が目的

『あい奨学金』成績優秀者への経済的支援

＊変更後

『朝陽奨学金』経済的支援が目的（成績優秀者に限定しない）

＊変更理由

経済的支援を重視するため。

◎原資は、百周年記念募金から 10 年分 1500 万円及び毎年実施する「朝陽あい基金」募金により、永続的に奨学金が支給できるようにする。生徒への奨学金支給のため募金にご協力ください。

◎生徒への手渡しは不用心のため、口座振り込みとする。

◎振り込みをメールで通知する方式を採用し、受給者の声を寄せてもらうよう働きかける。

◎今回の変更を学校にも説明し、充実した「朝陽奨学金」制度にすることを理解してもらう。

以下は、別紙をご参照ください。

- ② 支部朝陽会
- ③ 第1回館山寮・臨海教室見学バスツアー（8月2日）
- ④ 朝陽祭（9月6・7日）展示・朝陽グッズ販売
- ⑤ 第2回房総連合大遠泳（9月14日）鈴木仁志代表幹事

6 その他

◎**監事からの指摘事項**：同窓会預金口座名義→変更の必要性。会計単位を事業別に三分割（母校の支援・組織財政の強化・親睦の向上）し、各々の単位で管理すること（2024年度から）→再検討

今後のイベント

- ① 第33回東京校歌祭（10月26日 日曜日 12：00～杉並公会堂大ホール）
- ② 戸山高校城北会とのゴルフ交流戦（10月31日 金曜日）
- ③ ホームカミングデー（11月1日 土曜日 13：00～）
- ④ 母校キャリア・ガイダンス（1年生対象）への協力（2月4日 水曜日）

0 朝陽同窓会総会・懇親会（2025 年 5 月 31 日）別紙

1 朝陽奨学金（西尾副会長）

1 年生 4 名、2 年生 0 名、3 年生 7 名 合計 11 名に受給。

朝陽あい基金は、6 月末現在 190 件 206 万 6300 円（前年 185 件 192 万 5200 円）

従来の「学年奨学金」と「あい奨学金」を一体化。受給者へ感想文依頼。

2 支部朝陽会

① 第 42 回北海道朝陽会（7 月 5 日土曜日）ホテルポールスター札幌

4～34 回 11 名（幹事長出席） 幹事 江本匡（31 回）

② 宮城朝陽会（9 月 27 日土曜日）ホテルベルエア仙台

15～39 回 12 名 幹事 小田島肇（38 回）

③ 群馬朝陽会（11 月 9 日）・九州朝陽会（12 月 7 日）開催予定

3 （第 1 回）館山寮・臨海教室見学バスツアー（8 月 2 日土曜日）

① 行程：新宿西口 8：00～海ほたる～館山「中村屋」（昼食）～館山寮（寮・臨海教室見学）～新宿西口 17：00

② 参加：14 名（現地参加 2 名を含む）

4 朝陽祭参加（9 月 6・7 日）

① 展示内容：母校・同窓会の歩み、東郷平八郎元帥の書（1926 年）、荒木貞夫陸軍大将より授与された日本刀「裕丸」（1939 年）の展示

② 中講義室での展示「朝陽の芸術家たち」

直木賞 寺内大吉（中 13 回）「はぐれ念仏」・胡桃沢耕史（中 17 回）「黒パン俘虜記」

芥川賞 絲山秋子（37 回）「沖で待つ」（2005 年）

ほかに作家として加賀乙彦（中 21 回）「帰らざる夏」、中村敦夫（木枯し紋次郎）（10 回）「チェンマイの首」「ジャカルタの目」「狙われた羊」を紹介

音楽家では、坂本龍一（22 回）、池辺晋一郎（15 回）画家として松尾敏男（中 17 回）

◎朝陽グッズ（須田副会長デザイン）の販売：Tシャツ（1500 円）24 枚（←30 枚） マグカップ（1000 円）7 個（←20 個） 手ぬぐい（500 円）14 枚

◎再建なった「館山寮」模型展示（原田将史 48 回生提供）

5 第2回房総連合大遠泳（9月14日 日曜日）館山寮にて 鈴木財団理事

参加校：九段・立川・戸山・小田原・墨田川（応援）・新宿

参加人数：泳者29名、伴泳者6名、船サポート6名

6 第33回東京校歌祭（10月26日 日曜日）杉並公会堂大ホール 鈴木代表幹事

7 戸山高校城北会とのゴルフ交流戦（10月31日 金曜日）武蔵松山カントリークラブにて
金杉代表幹事・寺澤事務局長

8 システム更新（会計システム・名簿システム） 吉村悟顧問

「持続可能な同窓会」を目指して「次の100年へ」